



猫の健康状態を分析するスマートデバイスを提供するスタートアップ 株式会社 RABO を金融面からサポート

商工中金は、革新的な製品・サービスにより社会課題を解決しようとするスタートアップ企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（スタートアップ営業部）は、株式会社 RABO（本社：東京都渋谷区、代表者：伊豫 愉芸子）に対し、事業拡大に必要な資金として、1 億円の融資枠を開設しました。

同社は、猫特化型のペットテック企業です。同社が提供するスマートデバイス「Catlog（キャトログ）シリーズ」は、AI とセンサー技術を駆使して飼い猫の様々な行動を自動で記録・測定し、蓄積されたデータを基に、体調の変化やストレス状態を検知します。飼い主は専用アプリでリアルタイムに飼い猫の健康状態を把握できます。

今回同社は、調達する資金を活用し、製品在庫を充実させることで販売体制を強化し、さらなる事業成長を目指します。

商工中金は、経営者や関係機関へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みや財務上の課題を共有。同社のサービスは、動物福祉の向上に資するものと考え、本融資契約を締結しました。なお、本件は経営者保証に関するガイドラインに則り無保証としています。

商工中金は、スタートアップ企業の皆さまのサポートを通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【株式会社 RABO（ラボ）の概要】

所在地	東京都渋谷区東 3-9-19 VORT 恵比寿 maxim
代表者	伊豫 愉芸子
資本金	1 億円
従業員数	25 名（2025 年 10 月現在）
設立	2018 年 2 月
業種	飼い猫向けの IoT デバイスの開発・販売

